



## はじめに（発行の目的）

本年4月15日が広陵町誕生から60年の節目を迎えることとなり、議会においても過去を振り返り未来を考える企画をとの声があり、議会事務局の協力のもと議員自らの力で、このたび議会の60年のあゆみをまとめることと致しました。

昨年夏に議会が取り組んだ住民アンケートでは住民各位の希望は、①議会がどのような活動をしているのか知りたい②議会が住民の声の実現のためにもっと努力してほしいの2点にしほられましたのでこの60年の歩みも可能な限りこれらの希望に対して実際はどうであるのか明らかにしたいと考えます。限られた時間・スタッフ・スペースゆえ十分なものとは言えませんが、次の60年を展望して住民各位にお届けします。

## どのような手法でまとめたのか

町議会史上初の取り組みであり60年分の原史料に当たる必要があり、またより正確性を期そうとすれば史料批判の手順を経なければなりませんが、平成18年1月25日発生した倉庫火災によって原史料の多くが焼失する事態となっていることが判明しました。このため、①広陵町史②広報こうりょう（創刊時は“廣陵の友”と呼称）③議会だより④関係者の証言・寄稿などを駆使することによりまとめざるを得ませんでした。

## 議会は二元代表制の一元を担う

町長も議会議員も町民の直接選挙によって選ばれます。双方が意見交換と牽制によって緊張関係が生まれ住民の願い実現に向けた取り組みが進むものと信じます。「町のしていることに間違いないし」も「議会が決めればそれで決まり」も正しいものとは言えないのではないか、そのような視点でこの60年の歩みをお読みください。そして住民の願いが届く広陵町へと力の発揮を議会からも期待するものです。それでは具体的にご報告します。

## 1.合併直後の広陵町議会議員総数は何と48名

昭和30年4月15日に馬見町・瀬南村・百済村が合併して広陵町が誕生しました。合併時の議員は1年間その身分が保証されたのでこのような人数になったようです。翌年4月に合併後初の全町一区による選挙で22名の議員が誕生しましたが、同年9月に箸尾町が編入され新たに10名の議員が誕生し32名に。結局4自治体一区の選挙は昭和35年4月の選挙で22名になったのでした。その後定数の見直しが進められ昭和43年には18名に昭和63年には16名、平成20年には14名となり現在にいたっています。議員一人あたりの人口は昭和35年には $15598 / 22 = 709$ 名から平成20年 $33500 / 14 = 2393$ 名と3.3倍になっています。議員定数を減らせば議会の力が弱まり住民の声が届きにくい心配もあります。適切な定員を確保することが大切です。

## 2.議会だよりの発刊は平成5年、それまでは広報こうりょうの中に

それまでは町が発行する広報こうりょうの中に議会報告は居候状態となっていましたが、独自の議会広報発行についての機運が高まり一部に反対意見もありましたが今日のような議会だよりが発行されるにいたっています。町の管理するHP(ホームページ)にもアップされ、会議録も掲載されていますので見やすくなりました。会議録は大字や自治会(その後HP稼働後に配本中止)を含め町内施設に配本され閲覧できるようになりました。今後は動画で議会の様子が分かるようにしてはどうかとの声にも応えて行かなければなりません。

## 3.政治倫理条例の制定で議員の役割を明確化

平成9年12月に広陵町政治倫理条例が制定されました。『第1条 この条例は、町政が町民の厳肅な信託によるものであることを認識し、その担い手たる町長、副町長及び教育長(以下「町長等」という。)並びに町議会議員(以下「議員」という。)が町民全体の奉仕者として、その人格と倫理の向上に努め、清潔、公正及び公平を保つための必要な措置を定めることにより、高度な政治倫理理念に基づき活動し、町政に対する町民の信頼に応え、町民とともに民主的な町政の発展に寄与することを目的とする。』

住民のみなさんからは、議員がこうした立場をきちんと守ることを要請されますが当然のことです。

## 4.審議会に議員が加わるべきかどうかの見直し

町が設置する様々な審議会等に議員資格で加わることのは非も検討が進みました。農業委員会や介護保険計画策定委員会には従来議員が加わっていましたが見直しを進め現在は入っていません。町が原案を作成し議会が承認するのかどうかチェックする関係をより鮮明にしたものと言えます。

## 5. 100条委員会の設置で強制力をもった調査を実行

役場金庫内に公金とは言えない資金を管理するための預金通帳の存在が明らかになった際には、議会の調査権限では最高の力を発揮する100条委員会を設置して調査・解決に取り組みました。

## 6.重要課題は特別委員会を設置して休会中の審議もできるように

ごみ問題特別委員会、水道特別委員会や中学校給食特別委員会など閉会中の審議も可能な体制をとつて重要問題に対応することも重要なことです。ごみ問題特別委員会では関係する予算が100億円を超過したことや方式の選定・場所の特定など長期にわたる見込みも必要な上、通常議会で審議する内容をも取り扱つて慎重に審議しました。

## 7.条例制定(改定)を議会が提起することはまだほとんど出来ておりません

議会が二元代表制の一元を担うとかっこよく言つていますが、議会の側からの政策提言は意見の表明にとどまることが多く進んでいない分野です。提案のためには議員自身の研鑽を積むことや必要なスタッフを確保すること、町と十分に意見交換してその必要性を認識させることが大切です。こうしたことに政務活動費(年額12万円限度)を使用することも可能ですが、平成13年にこの制度が新設された時には年間24万円が限度でしたが使用実態を踏まえて現在は半額までに減額されています。

政務活動費は、昨年兵庫県の県議による不適切な使用実態が明らかになって国民的な話題になりました。広陵町町議会では、先払い・領収証は1円単位で添付する、残額は現金で返額する原則を掲げて運用しています。また運用上の問題がないかどうか更に吟味を進めようとしています。

## 8.議会基本条例を決定

全国各地の実践例にも学び議会基本条例を決定しました。一般質問の上限60分ですが回数制限を撤廃したり議会終了後に議会報告会の開催もこの中に決定したことです。

## 終わりに

議会も60年間いろいろな取り組みをしてきましたが、あくまで法令を遵守した手堅い運営に努力する必要があります。そのためには諸先輩のみなさんの取り組みによく学ぶことです。また、議会の役割が本当に発揮されるためには、住民のみなさんからご意見を承る活動の強化が必要になっています。60年を期にそうした取り組みをさらに進めて行きます。



議員勇退後も、いろいろな分野で活躍いただいている元議員は現在16名おられます。そのなかから60周年史作成にあたり寄稿いただきました5名の先輩議員のコメントと11名の先輩議員のお名前を掲載します。  
(いずれも50音順、敬称略にて掲載させていただきます。)

## 連携・協働でさらなる発展を

乾 浩之（大場）



人口減少と超高齢化というこれまで経験したことのない事態が進行する時代に、町制60周年を迎えた我がまち広陵町がこれからも豊かで安心して暮らせる町であり続けるためには、国や県、近隣自治体などと連携・協働し持てる資源を最大限生かしていく必要があります。

私も北葛城郡選出の県会議員として国県とのパイプ役を果たすだけではなく、議員諸兄諸姉とともに郡内四町の絆を強め、地元広陵町のさらなる発展のお役に立ちたいと願っています。

## 後輩議員の活躍にうれしく思う

上島 敏文（萱野）

奈良県が第二浄化センターを萱野に持ってくるというので、数年間は家業をわきに置いて町内を奔走しました。よく議論してもらったので時間はかかったがよい結果が得られたと思います。私はこのことを契機に、近鉄箸尾駅前の整備ができないかというのが長年の希望です。

町議を1期、区長を15年務めました。高齢ですが気力は確かです。後輩議員が町を少しでもよくなるように頑張ってくれるのが、何よりもうれしいことです。



## 私の議員人生

大山 隆雄（古寺）



私の初当選は、昭和59年4月9日でそれから4期16年間町政に携わってまいりました。在籍中は、議長、各委員長、消防事務組合議長を経験し、委員長時に広陵中学校建替え、社会福祉センター位置決定があり、町長との強い協議を行い決意したものでした。

町制60周年を迎え、今後ますます発展していくことを願っています。

現在、私は83歳。100歳まで頑張る人生を心に秘め、茄子600本、大和子芋1000株、黒豆1000株を栽培しています。



## 議員活動を振り返って

松浦 敏信（疋相）

私は議会の改革と活性化で風通しの良い行政に取り組みたいという思いから、2004年より町議会議員を2期つとめました。

社会環境の変化に人の心も壊れていくのを感じており、ますます人の和を重視した議員活動をしていただきたいものです。増大する遊休農地を活用した農業体験による地域の結びつきが大切であると思い、幼・保園児たちにジャガイモ掘り体験など、近隣住民との交流を図っており、今後もボランティア活動に身を投じていきます。広陵町議会のますますの発展を願っています。



## 広陵町議会議員として忘れ得ぬ事柄 山田 光春（広瀬）



当初から町民に信頼される議員になりたいとの思いで、「発言力」「提案力」「実現力」を兼ね備えるために“調査なくして、発言なし、現場に立てば周りが見え臭いが解る”をモットーに戦い、議場の一般質問で訴え実現してきた。

◎水道基本料金の改定◎大和高田市長に署名簿を持って百済～松塚間の街路灯の実現◎社協の不当解雇事件（賠償金222万円で社協が敗訴）◎防災センターに係る土地売買の問題、等々多くの忘れ得ぬ事柄が脳裏に浮かんでくる。32年間の議員生活に悔いはないし心から皆様に感謝したい。



今回ご紹介できなかった方々も、

いろいろな分野でご活躍されています。

小原 昇（安部）	中村 一夫（萱野）
笹井 正隆（南郷）	西谷 はる美（馬見南3丁目）
出張 光男（疋相）	山下 昭紀（大塚）
寺前 憲一（三吉）	山本 悅雄（大塚）
土井 重雄（南郷）	吉岡 章男（三吉）
長瀬 好郎（寺戸）	

年 号	西暦	町 & 町議会の主な動き	全国の出来事
昭和30年 4月	1955年	馬見町・瀬南村・百済村合併により広陵町誕生。 広陵町議会は従来からの継続議員計48名に	ヘレン・ケラー来日(5/27)
昭和31年 4月	1956年	組合立広陵中学校が町立中学校となる	テレビ受信者30万人超える
4月	1956年	広陵町議会議員選挙 全町（旧3自治体）一区選挙で議員22名を選出	日本の国連加盟(12/18)
9月	1956年	箸尾町が広陵町に編入合併される	
昭和32年 7月	1957年	池尻・藤森が広陵町より分離し大和高田市に編入	百円硬貨発行(12/11)
昭和33年 4月	1958年	町営水道完成	月光仮面放映(2/24～)・一万円札発行(12/1)・東京タワー完成
昭和34年 1月	1959年	町立広陵中学校新校舎完成	伊勢湾台風(9/26)
昭和35年 4月	1960年	広陵町議会議員選挙 全町（旧4自治体）一選挙区で議員22名を選出	ダッコちゃん人形
4月	1960年	常任委員会（総務・厚生・土木）体制整備	昭和39年 東海道新幹線開通
昭和39年 4月	1964年	広陵町議会議員選挙	東京オリンピック開催
昭和40年 5月	1965年	「旧広陵町史」刊行	日韓基本条約締結
昭和43年 4月	1968年	広陵町議会議員選挙 議員定数削減し議員18名を選出	3億円事件 (12/10)
昭和46年 9月	1971年	町新庁舎完成	わたしの城下町・雨の御堂筋がヒット
昭和47年 4月	1972年	広陵町議会議員選挙	
9月	1972年	野村豊和氏 ミュンヘンオリンピック 柔道軽中量級 金メダル受賞	沖縄が祖国復帰・日中共同声明で 国交正常化
昭和48年 3月	1974年	真美ヶ丘ニュータウン開発工事開始	オイルショック
昭和49年12月	1974年	清掃センター建設特別委員会設置	巨人軍、長島茂雄引退
昭和51年 4月	1976年	広陵町議会議員選挙	
8月	1976年	清掃センター設置地元同意を得る	鹿児島で五つ子誕生(1/31)・ ロツキード事件
昭和52年 3月	1977年	清掃センターリ起工式	
7月	1977年	町長・町議会選挙で公営ポスター掲示場設置を決議	王貞治HR756号世界新記録(9/3)
昭和53年10月	1978年	清掃センター稼働	成田新国際空港開港(5月)・日中 平和友好条約調印 (8/12)
昭和55年 4月	1980年	広陵町議会議員選挙	
5月	1980年	中央体育館竣工	
昭和58年 4月	1983年	真美ヶ丘ニュータウン入居開始・下水道供給開始	東京ディズニーランド開業(4月)
昭和59年 4月	1984年	真美ヶ丘第一小学校開校 ・町営火葬場業務開始	グリコ森永事件・ロス五輪
昭和59年 4月	1984年	広陵町議会議員選挙	
4月	1984年	奈良県第二浄化センター操業開始	
7月	1984年	鈴木一二美氏 パラリンピックロンドン大会 アーチェリー 銀メダル	
7月	1984年	わかくさ国体開催 (ソフトボール・フェンシング)	

年号	西暦	町 & 町議会の主な動き	全国の出来事
	10月 1984年	県道南北線（高田広陵バイパス）開通	
昭和60年 4月	1985年	池端若松氏、野村豊和氏が名誉町民に	日航ジャンボ機御巣鷹山墜落(8/12)
	12月 1985年	「核兵器廃絶平和宣言」（昭和60年12月18日議決）	
昭和61年 4月	1986年	真美ヶ丘中学校開校	Chernobyl accident
	5月 1986年	広陵町議会議員補欠選挙	
昭和62年 4月	1987年	真美ヶ丘第二小学校開校	国鉄民営化、JR発足(4/1)
	11月 1987年	野村佐市氏が名誉町民に	
昭和63年 4月	1988年	広陵町議会議員選挙 議員定数削減し議員16名を選出	瀬戸大橋開通
	9月 1988年	奈良シルクロード博 広陵デー開催	消費税法施行 税率3% (4/1)
平成 2年 4月	1990年	広陵町グリーンパレス開館	東西ドイツ統一 (10月)
	5月 1990年	広陵中学校改築竣工	
	5月 1990年	広陵町議会議員補欠選挙	
平成 4年 2月	1992年	町長選挙で当選者なし。異議申し立ての決着（翌年8月）まで町長職務代理者を置く	山形新幹線「つばさ」開業
	4月 1992年	広陵町議会議員選挙	
	9月 1992年	鈴木一二美氏 バルセロナパラリンピック アーチェリー 銅メダル	
平成 5年 4月	1993年	サンワーク広陵 「はしお元気村」開館	青色LED実用化
平成 5年	1993年	議会だより第一号発行、その後年4回発行を継続	
平成 6年 5月	1994年	竹取公園開園	関西国際空港開港
平成 8年 4月	1996年	広陵町議会議員選挙	阪神・淡路大震災 (平成7年1月17日)
	7月 1996年	野村忠宏氏 アトランタオリンピック 柔道60キロ級 金メダル	
	7月 1996年	鈴木一二美氏 アトランタパラリンピック アーチェリー 金メダル	
	7月 1996年	野村忠宏氏が名誉町民に	スターバックス銀座1号店開店
平成 9年 7月	1997年	町立図書館開館	消費税の税率を3%から5%に引き上げ(4/1)
	7月 1997年	政治倫理条例制定	
	12月 1997年	自治大臣より交通安全功労特別表彰	
平成10年 4月	1998年	町立図書館で貸出冊数100万冊を突破	明石海峡大橋開通
平成11年 7月	1999年	広陵町第3次総合計画（2000年から2010年）を議決	欧州通貨統合で「ユーロ」誕生
平成12年 4月	2000年	広陵町議会議員選挙	
	9月 2000年	野村忠宏氏 シドニーオリンピック 柔道60キロ級 金メダル	
	9月 2000年	鈴木一二美氏 シドニーパラリンピック アーチェリー 銀メダル	
10月 2000年		政務調査費（その後政務活動費に改定）制度開始	カメラ付き携帯電話新発売

年号	西暦	町 & 町議会の主な動き	全国の出来事
平成13年 1月	2001年	清掃センター操業期限を平成17年6月末とする和解	ユニバーサル・スタジオ・ジャパンオープン(3/31)
5月	2001年	女性模擬議会開催	米国同時多発テロ事件(9/11)
5月	2001年	「新広陵町史」刊行	
6月	2001年	さわやかホール完成、利用開始	
平成14年 4月	2002年	郵便局ほか4施設でサービスカウンター設置	
4月	2002年	広陵中学校改築竣工	住民基本台帳ネットワーク(8/5~)
平成15年 4月	2003年	畿央大学開学	郵便ポスト設置(ローソン)
平成16年 4月	2004年	広陵町議会議員選挙	
	8月	野村忠宏氏 アテネオリンピック 柔道60キロ級 金メダル	新1万円、5千円、千円札発行 (11月)
	10月	個人情報保護条例を制定	
平成17年 4月	2005年	裁判和解で旧清掃センター操業停止	
	6月	図書館貸出500万冊を突破	重要文化財指定 与楽寺 木造十一面観音立像 (M39/4/14)
平成18年 6月	2006年	クリーンセンター火入れ式で操業開始	重要文化財指定 百済寺三重塔 (H17/6/9)
	12月	区・自治会への会議録配布を取りやめ、議員の各種行政委員報酬受領を廃止、常任委員会視察研修を廃止	預金保護法施行 長者番付廃止
平成20年 4月	2008年	広陵町議会議員選挙 議員定数削減し議員14名を選出。常任委員会体制の変更で総務文教委員会・厚生建設委員会を設置	北京五輪 (8/8~24)
平成21年 2月	2009年	広陵町HPで会議録検索可能になる	オバマ氏、第44代米大統領に就任
	12月	議会だよりが町より独立した取扱いをすることを確認	
平成24年 2月	2012年	全国町村議会議長会表彰	東北地方太平洋沖地震 平成23年3月11日
	4月	広陵町議会議員選挙	
	4月	広陵町第4次総合計画 (2012年から2021年) を策定	
	10月	上水道の県水100%承認し自己水を廃止	東京スカイツリー開業(5/22)
平成25年 3月	2013年	中学校給食検討特別委員会・地域公共交通システム検討特別委員会設置	富士山、世界文化遺産登録
	6月	議会基本条例策定特別委員会設置	
平成27年 3月	2015年	議会基本条例制定	18歳選挙権成立(6/17) 2016参院選から・マイナンバー制度制定

